歳出（町の支出）

質疑

一般会計

総務費

デマンドタクシー

笹原委員 デマンドタクシーの利用状況と利用者の声は。

企画政策課長 町内の通常便は延べ6404人で前年度比388人の増。町外延伸便は延べ210人の利用があった。

令和5年度は、アンケート等を行っていないため、ご意見をいただく機会はなかったが、町民の足として定着し活用いただいている。

集落支援員の成果

笹原委員 集落支援員が配置されたことによる具体的な成果は。

企画政策課長 空き家の調査結果からの利活用判断やランク付け、紅花や農業の取り組み、支援員が担当しての週一回の福祉事業などが実施された。

フラワー長井線

金田委員 全線開通100周年記念事業も含め、2000万円を超える決算だが、どのような効果があったのか。

企画政策課長 イベントとしては大変盛り上がったものとなった。利用拡大に直接関係することではないが、自分たちの鉄道という意識の醸成につながったと考えている。

100周年でにぎわう荒砥駅

インターン制度の実績

山田委員 地域おこし協力隊の裾野を広げるため、インターン制度を導入したが実績は。

企画政策課長 応募されてきた協力隊の方がすぐに着任したいということだったので、この制度は使わなかった。今後もこの制度を活用しながら募集をしていきたい。

コミセンの指定管理

佐々木委員 コミセンの指定管理が一本化になるが、これまでの地域の事業者等との関りはどうなるのか。

町長 地域の核として独自性を持ちながら運営するよう取り組んできた。どういう形の管理になっても、今までとは変わりはないと認識している。

民生費

犯罪被害者支援センター

衣袋委員 犯罪被害者支援センターへの負担金があるが、町では被害者支援特化条例を制定する予定はないか。

町民課長 県に条例が有り、それに基づく対応という形で考えているので、町としての条例制定は今のところ予定していない。相談窓口として、町民生活相談センターで応じ、今年度犯罪被害者支援金を予算化し、制度創設に向けて準備している。

児童発達支援センター

横山委員 児童発達支援センター「にこっと」が令和5年4月から始まった。利用状況とその成果は。

健康福祉課長 令和5年度末、児童発達支援センター10人、放課後等デイサービス14人、保育所等訪問事業11人の利用登録。障がい児サービスは49人の利用。事業所ができて大変ありがたいという声をいただいている。

高齢者世帯の雪下ろし等支援

金田委員 本事業に該当する対象者数は。また、近年の傾向及び要望は。

健康福祉課長 89人の方に支援をさせていただいている。今後についても、高齢者のみの世帯が増えていくと思われ、ますますこの制度を必要とする世帯が増えてくるものだと考えている。